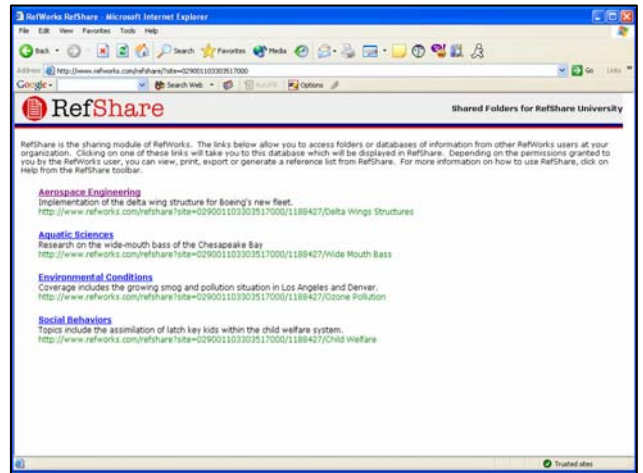


RefShare

データベースと文献目録の
グローバルな共有・出版ツール



RefShare は、データベース（またはフォルダ）を素早く簡単に共有し、共同研究を高める RefWorks 内のモジュールです。RefWorks の文献目録データを 同じ組織内の研究者だけでなく、インターネットにアクセスのある世界中の研究者と共有できるようになります。

RefShare の用途

- 中央ウェブページに授業の読書課題リストを掲載できます。
- 情報に簡単にアクセスし、プロジェクトに協力している研究者と情報を共有できます。
- 頻繁にリクエストのある文献データのデータベースをトピック毎に作成・共有できます。
- 特定の教職員が行った研究のリンク可能データベースを提供できます。
- 文献データの組織内データベースを出版し、仲間の研究者と簡単に共有できます。

RefShare の利点

- 研究情報を掲載したり、アクセスするための中央ウェブページを作成し情報の普及を促進します。
- インターネットを介した簡単なデータアクセス機能を使って、共同研究に適した環境を提供します。
- シームレスな情報の共有・交換を可能にします。
- RefWorks のデータベース間の簡単な情報の移行を可能にします。
- 研究に関する問い合わせ、授業の課題、または研究論評用に、頻繁に必要とされる資料のデータベースを一箇所に掲載します。
- 研究情報への簡単な遠隔アクセスを世界中に提供します。

RefShare は誰に必要か？

- **教職員** - 注釈付きの講義要綱、読書課題リスト、バックグラウンド研究、出版論文の掲載
- **研究者** - 研究結果の共有、共同研究
- **学生** - 講義リスト、研究、講義要件のアクセス
- **学部** - プログラム要件や読書課題リスト、教職員による研究の掲載
- **司書** - 専門文献リストの掲載、カスタム情報資源の中央管理

RefShare を使った情報の共有の簡単さには驚かされます。その簡単さから大学の授業にはこれからますます利用されると思います。長期的に見て、学生の共有文献リストにアクセスできる教職員は、学生の学業の進展をさらに理解し、より優れた指導ができるようになります。」

米国セントベネディクト/
セントジョン大学
アルクイン図書館
Dave Wuolu

RefShare は、研究者や教職員間で、お互いに、また学生と情報を共有できる機能がから非常に好評です」

イギリス、シェフィールド
ハラム大学、学習センター
Roger Hines

RefShare と RefWorks へのアクセス:
www.refworks.com

RefShare: 共同研究プロセスの向上！

RefShare

仕組み

- RefShare は購読組織に、ユーザが RefWorks データベースやフォルダを掲載できる集中管理とカスタマイズが可能なウェブページを提供します。
- データベースには、このウェブページから簡単にアクセスできます。また、ユーザはメールを使って、誰とでもこの情報へのアクセスを共有できます。

RefShare の特長

- ユーザは、様々なオプションを使って、それぞれのデータベースのアクセスを制御できます。
- 他のユーザはデータの検索、ダウンロード、印刷、出力ができ、またメールで著作者に連絡することもできます。
- アクセスは、特定のユーザグループに制限できます。
- 研究情報に、世界中のユーザが簡単にアクセスできます。

RefWorks について

RefWorks は、ユーザが注釈付きの文献目録データのパーソナルデータベースを構築・変更できる、ウェブベースの文献目録管理ツールです。

ユーザは、インターネットに接続されたコンピュータを使って、RefWorks のパーソナルデータベースにアクセスします。文献データは、何百もの互換性のあるデータベースに取り込み、または手動で入力できます。

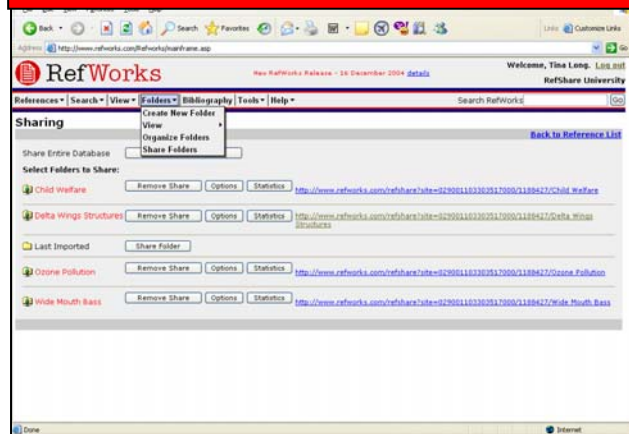
RefWorks に関する追加情報は、www.refworks.com をご覧ください。

**RefShare は、当校の
教職員の論文出版に最適です。
事実上、論文の出版には
欠かせない存在になっています」**

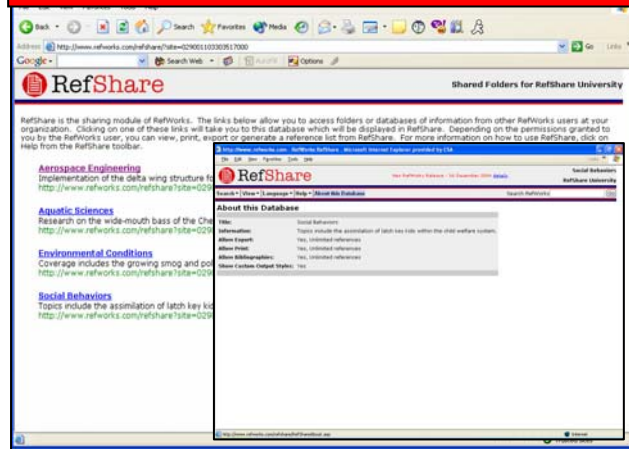
カナダ、ウィニペグ大学図書館
Karen Hunt

RefShare と RefWorks へのアクセス:
www.refworks.com

データベースやフォルダを
素早く簡単に共有



カスタマイズ可能な中央ウェブページから
共有データベースやフォルダに アクセスして表示



遠隔ユーザにメールで送った
ウェブアドレスを使って
データにアクセス



RefShare: 共同研究プロセスの向上!